〈参考資料－２〉

赤川圏域河川の治水安全度現況図

● 『河川の治水安全度現況図』とは

国･県が管理する河川について、どの程度の洪水に対し、氾濫せず安全に流すことができる能力を持っているのかを表したものです。

● 図の見方

○ 図の河川の着色は、次に示す内容を表しています。

国が管理している河川		概ね５０年に１回程度起こると想定される洪水に対して、氾濫せず安全に流すことができる能力を持った区間
		概ね３０年から５０年に１回程度起こると想定される洪水に対して、氾濫せず安全に流すことができる能力を持った区間
		概ね３０年に１回程度起こると想定される洪水に対して、安全に流す能力を持たない区間

県が管理している河川		概ね３０年に１回程度起こると想定される洪水に対して、氾濫せず安全に流すことができる能力を持った区間
		概ね１０年から３０年に１回程度起こると想定される洪水に対して、氾濫せず安全に流すことができる能力を持った区間
		概ね１０年に１回程度起こると想定される洪水に対して、安全に流す能力を持たない区間

※１　上記の着色なしの区間は、改修不要もしくは未評価区間です。

※２　この評価には、堤防強度（堤防自体の質的強度）の評価は含んでいません。

※３　洪水に対する安全度には、内水による氾濫を考慮していません。

（「内水による氾濫」とは流域内に降った雨水が河川に流入する以前に、流入先河川の水位の上昇などにより流入出来ずに氾濫が生じる現象です。）

赤川圏域
河川の治水安全度
現況図

